



製造実力の向上に一層磨きをかけ、常に新たな価値を創造し、お客様とともに成長するグローバル鉄鋼サプライヤーを目指します。

JFE スチールは、世界トップクラスの生産規模と高い技術開発力を有し、増大する高級鋼の需要に応えてきました。今後も次代を担う独自性や機能性の高い商品の開発を積極的に推進し、国内のお客様に安定的にお届けしていくとともに、海外メーカーとの提携などにより高級鋼の製造・販売ネットワークの構築を進め、世界各地へ優れた商品を提供していきます。また、地球環境問題など社会のさまざまなニーズにもお応えするべく、挑戦し続けていきます。

代表取締役社長(CEO) 柿木 厚司



鉄鋼事業の概況と特徴

大型高炉を保有する2つの大規模製鉄所

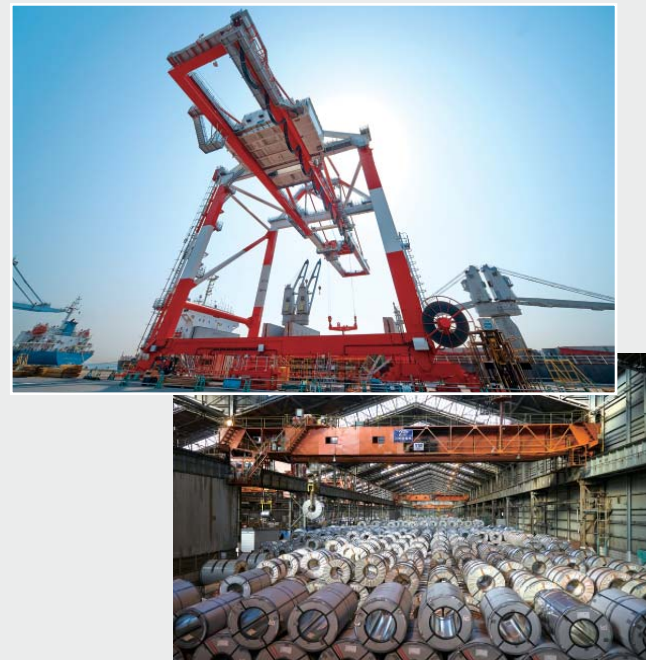
東日本製鉄所の千葉地区は、戦後、わが国で初めて建設された銑鋼一貫の臨海製鉄所です。また、京浜地区は、東京湾に浮かぶ約550万㎡に及ぶ人工島、扇島に立地しています。西日本製鉄所の倉敷地区・福山地区は、深い港湾があるなど優れた立地条件にあり、敷地面積は両地区で東京ドームの約540倍に相当します。両製鉄所とも世界最大級の大型高炉を持ち効率的な生産体制を構築しています。

また、知多製造所は、中京工業地帯に立地し、油井管やラインパイプをはじめ、各種鋼管の品揃えが世界一の鋼管専門工場です。



JFE ブランド確立のため お客様満足度を徹底追求

お客様に選ばれる「JFEブランド」の確立に向けて、商談、商品設計から製造・デリバリー・品質保証までの一貫したサービス・サポート体制の強化に取り組み、お客様満足度の徹底追求を図っています。



■ JFE スチール製造拠点

西日本製鉄所



福山地区



倉敷地区

東日本製鉄所



千葉地区



京浜地区

知多製造所



国内製造基盤の整備

国内製造拠点の操業安定化・コスト競争力の向上を目的に、足元の重点課題として、設備・人の両面での製造基盤整備に取り組んでいます。設備については、稼働から年月が経過して効率が落ちてきた設備を中心に、補修・リフレッシュ工事を積極的に進め、設備の競争力を維持・強化していきます。具体例としては、原料荷役・搬送設備の集中補修や、コークス炉などの設備更新を進めています。人

については、団塊世代の大量退職により、全社的に大幅な世代交代を迎える中、ベテラン社員の技能を若手に伝承するため、職場毎に人材育成の専任者を配置する「テクニカルエキスパート」を導入しています。人材育成専任者には、ベテラン社員や再雇用したOBを活用しており、トラブル時の対応などを中心とした技能伝承を着実に進めています。



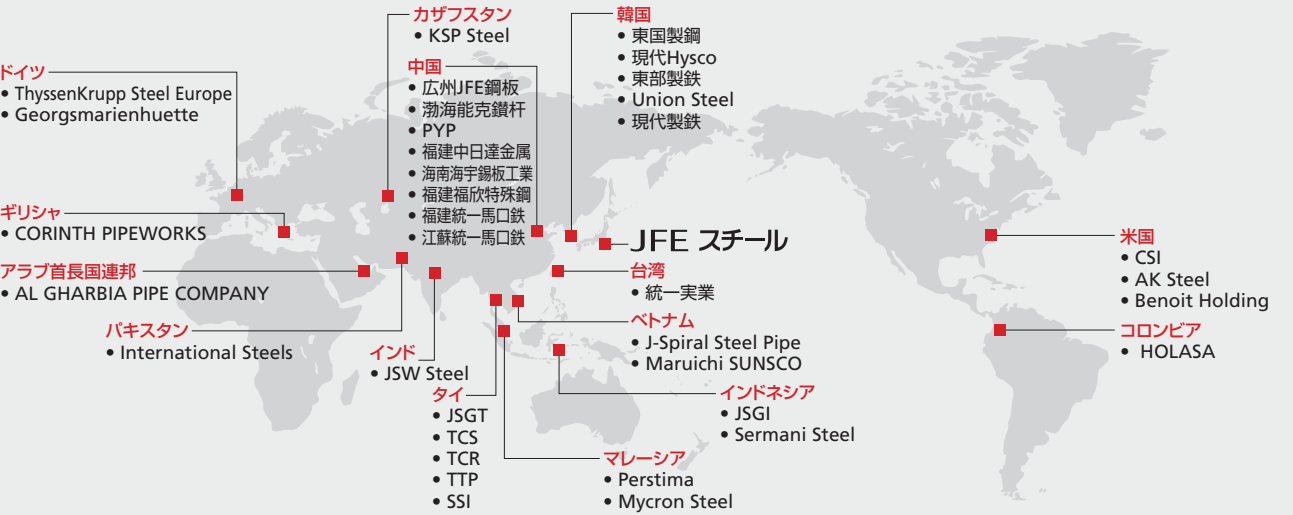
伸びゆく世界市場へ着実にアクセス

世界の鉄鋼マーケットは今後も拡大が見込まれています。これらの増大する需要に対応するため、JFEスチールでは輸出拡大に加え、さまざまな施策を実施しています。自動車用鋼板の供給体制整備については、成長市場である中国、インド、東南アジア地域で各国のアライアンス先を通じて高級鋼の製造・販売ネットワークを確立しています。中国では、50%出資する広州JFE鋼板で冷延ミル・溶融亜鉛鍍金ラインが、タイでは100%出資するJFEスチール ガルバナイジング(タイランド)(JSGT)で溶融亜鉛鍍金ラインが、それぞれ順調に稼働しています。インドでも、戦略的提携先であるJSWスチール社で、当社が自動車用鋼板の製造技術を供与したビジャナナガル製鉄所の第二冷延

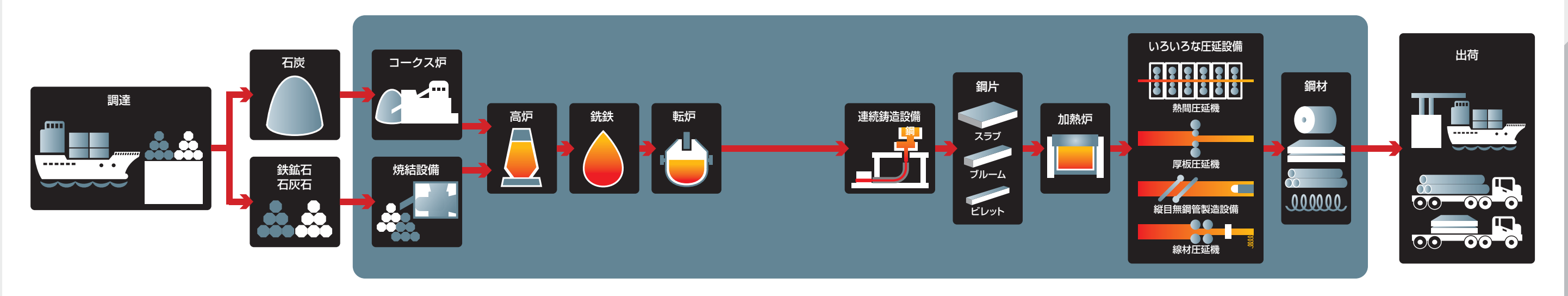
工場が稼働しました。さらにインドネシアでも当社が100%出資するJFEスチール ガルバナイジング インドネシア(JSGI)にて溶融亜鉛鍍金ラインの建設を進めています。

また、中長期的に需要の拡大が見込まれるエネルギー鋼管についても供給体制整備を進めており、当社が50%出資するカリフォルニアスチール(CSI)社が建設を進めていたNo.2電縫管製造設備が2014年10月に営業生産を開始しました。世界屈指の原油・天然ガスの生産地域である中近東においても伊藤忠丸紅鉄鋼、アブダビ首長国100%出資の投資事業会社SENAAT社と共に、エネルギー産業向けを中心とした大径溶接鋼管の製造・販売会社をアブダビに設立しました。

■ 主要な出資・アライアンス先



■ JFE スチールの生産プロセス



Highlights 2014



「Super-SINTER®」が全国発明表彰、大河内記念技術賞を受賞

当社が開発した、気体燃料吹込みによるCO₂排出量削減に適した製鉄原料製造技術「Super-SINTER®」が、全国発明表彰と大河内記念技術賞を受賞しました。本技術は、高炉の主原料となる焼結鉱の製造工程において、粉コークスの一部代替として炭化水素ガス（都市ガス）を使用する技術で、製鉄プロセスのエネルギー効率を大幅に向上させ、CO₂排出量削減に寄与します。当社が大河内賞を受賞するのは6年連続です。



野球部・競走部が大活躍

東日本、西日本硬式野球部が、ともに都市対抗野球大会と社会人野球日本選手権に出場しました。両大会ともに地域の皆様と一体となった応援を繰り広げ、西日本の橋本選手は社会人野球表彰個人記録表彰で首位打者賞を受賞し、東日本の幸松選手も千葉県と佐賀県から顕彰されました。

また、競走部も沿道からの大きな声援を受け、ディランゴ選手が2つの大会で優勝するなど、多くの大会で活躍しました。



最新の溶銲予備処理プロセスを導入した西日本製鉄所(福山地区)第3製鋼工場3号転炉が稼働

資源の節約とエネルギーの削減に寄与する、最新の溶銲予備処理プロセスを導入した西日本製鉄所(福山地区)第3製鋼工場3号転炉が稼働しました。

スチール研究所が福山地区にカスタマーセンター福山(CCF)を開設

JFEグループが保有する材料開発や、その利用技術に直接触れていただけるカスタマーセンターを、西日本の拠点である福山地区に開設しました。それにより、全国のお客様に向けて、より幅広くEVI(Early Vendor Involvement)活動を行う体制を構築しました。お客様が抱える技術的な課題を共有し、より多くの共同研究やプロジェクトを通じて、お客様との協創を推進していきます。



CSI社がNo.2電縫管製造設備を稼働

当社が50%出資する米国の鉄鋼メーカーであるカリフォルニアスチール(CSI社)社は、エネルギー分野向けの鋼管需要の拡大および高級化に対応すべく、No.2電縫管製造設備を稼働させました。この増強工事により、電縫管製造設備の製造能力は2.6倍に増加し、(製造可能最大外径)厚肉化・高強度化にも対応が可能になりました。



UAEにおいて、大径溶接鋼管の製造・販売を行う合併会社設立を決定

当社と伊藤忠丸紅鉄鋼、アブダビ首長国の投資事業会社SENAAT社は、エネルギー産業向けを中心とした大径溶接鋼管の製造および販売を行う合併会社をアブダビに設立しました。同地域は世界屈指の原油および天然ガスの生産地域であり、今後も堅調な開発・生産が予想され、その輸送に使用されるパイプライン用の高品質な鋼管の需要が見込まれます。

2014年4月

- 「革新的熱加工制御技術を使用した高性能厚鋼板の開発育成」で科学技術分野の文部科学大臣賞 科学技術賞(開発部門)を受賞
- 「デュアルコイル電磁石による表面処理鋼板の非接触通板制御装置」が日本機械学会賞(技術)を受賞
- 知多製造所がシームレス鋼管累計生産1,500万トン達成

5月

- 西日本製鉄所(福山地区)と東日本製鉄所(京浜地区)でまつりを開催
- 石炭運搬船カーゴホールド用高耐食性厚鋼板を開発し、石炭運搬船に初採用
- 成形時の重量・寸法安定性に優れた焼結機械部品用鉄粉「JIP クリーンミックス® ZERO」を開発

6月

- ブラジル油田開発プロジェクト向けに、ケーシングパイプ用油井管「JFE-UHP®-17CR-110」を受注

7月

- 「Super-SINTER®」が全国発明表彰 経済産業大臣発明賞を受賞
- 東日本、西日本硬式野球部が第85回都市対抗野球本大会に出場
- 焼結機への酸素・水系系ガスの複合吹込み技術「Super-SINTER® OXY」を世界で初めて開発

8月

- 種子コーティング用プレミックス鉄粉「粉美人®」を開発し、販売開始
- 米CSI社でNo.2電縫管製造設備が稼働

9月

- 東日本製鉄所(千葉地区)でまつりを開催

10月

- 世界最大厚の降伏強度460MPa級高アレスト鋼を開発

- 自動車骨格部品用高伸び・伸びフランジ型高張力合金化溶融亜鉛鍍金鋼板を開発
- スチール研究所が福山地区にカスタマーセンター福山(CCF)を開設

11月

- 西日本製鉄所(倉敷地区)でまつりを開催
- 東日本、西日本硬式野球部が第40回社会人野球日本選手権に出場
- 省資源型高耐熱ステンレス鋼「JFE-TF1」が「2014 R&D 100 Awards」を受賞
- ブラジル鉄鉱石事業関連資産(NAMISA)統合
- タイTCR社が環境保全部門でタイ総理大臣賞を受賞

12月

- 引張強度980 MPa級の高張力熱延鋼板「JFE-HA980SB」が世界で初めてトラック車体の衝突安全部品に採用
- 西日本製鉄所(福山地区)第3製鋼工場3号転炉が稼働

2015年1月

- 世界最高精度の炭素定量分析装置「FE-EPMA」を開発

2月

- 競走部ディランゴ選手が、千葉国際クロスカントリー大会と全日本実業団ハーフマラソン大会で優勝
- 厚鋼板の新冷却設備「Super-CR」が新機械振興賞 経済産業大臣賞を受賞

3月

- 自動車外板パネル用高強度鋼板「440MPa級ユニハイテン®」が大谷美術館賞を受賞
- 「Super-SINTER®」が第61回大河内記念技術賞を受賞
- アブダビ首長国において、大径溶接鋼管の製造および販売を行う合併会社設立を決定(2015年5月設立)